

広島港宇品・出島地区基本構想検討会

第3回検討会 議事概要

日時:平成 30 年 2 月 6 日(火)16:30～

場所:TKP 広島平和大通りカンファレンスセンター 3階「ホール3D」

1. 資料説明

- ・ 主催者が「広島港宇品・出島地区基本構想検討会第3回検討会資料 第1章～第3章」を説明。

2. 「第1章～第3章」に対する質問

- ・ 質問なし

3. 資料説明

- ・ 主催者が「広島港宇品・出島地区基本構想検討会第3回検討会資料 第4章～第5章」を説明。

2. 「第4章～第5章」に対する主な意見

- ・ 概ね 10 年後, 30 年後と2段構えでプランを作ってもらっているが, 10 年でも長い。出島地区を早く埋め立てて, 港湾用地の拡充を図ってほしい。貨物の増大・増加に合わせ船舶の大型化のスピードはますます速くなっていくと思われ, それらに対応するためには早急に, 出島の機能強化を進める必要がある。
- ・ 現在の高架道路下の一般道路は, 交差点を含め全体として見通しが良くない。今後, トレーラーや一般車両が安全に走れるよう, 細部にわたって検討してほしい。
- ・ 動線の強化や臨港道路について計画されており, 非常に歓迎したい。
- ・ 概ね 10 年後として提示してある出島地区のコンテナターミナルと高速道路を繋げる臨港道路は, 整備を促進してもらいたい。
- ・ 出島のコンテナターミナルから東へ向かうもっと有効な道路があれば, 交通渋滞や危険もなくなり, よいのではないかと思う。
- ・ 宇品の高架下は歩道や側道が広く, 空き地まであり整理されていないと感じる。これらを整理すればもっと有効な空間利用が出来ると思っている。
- ・ 東西方向への交通ネットワーク強化の方向性が示されており評価できる。
- ・ 旅客ターミナルと旅客船をつなぐバリアフリー, ユニバーサルデザインなどの「ターミナ

ルの利便性の強化」について、より詳しく検討してほしい。

- ・ 旅客フェリー航路を活用したモーダルシフトの取り組みについて、検討してはどうか。
- ・ 物流と人流との棲み分け、物流機能の適正な配置、物流用地の確保など、いずれも考え方がきっちり示され、具体的に計画がされていると感じた。
- ・ 出島地区のコンテナターミナルや物流用地の整備を早期に進め、将来的には海田地区のコンテナ取扱機能を出島地区にシフトさせることが企業活動を行う上で望ましい。
- ・ これまでの意見が反映された施設配置や土地利用になっている。
- ・ 出島地区の具体的なプランが見えてくることで企業の検討が前へ進めば、活用に大きな道が開けるのではないか。
- ・ 広島港の物流は、輸出に意識が大きく、輸入があまり見えていないと思っている。広島ほどの大きな都市圏であれば、輸入に関して、今後、取り組みを進める必要がある。
- ・ コンテナ物流機能の強化や用地の確保をやるということは、必要不可欠だとよく分かったが、これらのことがなぜ、国際競争力の強化につながるのか。
→地域の産業、輸出入といった海外とのやりとりがある中で、コンテナ物流機能は不可欠と考えている。コンテナ貨物を扱う上では、陸上部に荷捌き場が必要となることから、出島の背後地においても倉庫用地を確保するという計画にしている。(主催者)
- ・ 人流と物流の両方を発展させるため、今後は、スケジュール感を示していくことが必要ではないか。
- ・ 民間資本を導入する事例を増やして、港湾経営の本格的な効率化を是非目指してほしい。
- ・ 「人流・賑わい」に関し、「人が中心」「人の生活」といったいろんな切り口から検討を進めてもらいたい。交通の面では水域の活用方策についての検討も必要ではないか。
- ・ 基本構想を創るうえで、将来に向けて夢を見ることが出来るような構想を掲げるということは今の時代に必要であると感じる。このようなアイデアを出していくことは大変重要な意義があり、今回の案に敬意を表したい。
- ・ 耐震強化岸壁やオープンスペースの確保等の防災機能の強化に関し、その目的をより明確に提示してはどうか。